

# 住民主体のまちづくり

No.4 2014. 3

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

## ■米子市の未来づくり・ひとづくり講演会が実施

米子市民自治基本条例の趣旨である「市民が主体となったまちづくり」を進めるために、住民自治とまちづくりの意義や、住民が主体的にまちづくりに取り組んでいる先進地の事例などを学び、住民が主体性を持ってまちづくりに取り組む意識の醸成を図ることを目的に、去る2月3日（金）米子コンベンションセンターで実施されました。主な内容を紹介します。

### 地域の安全の確保と住民の幸せ

このことについて、2つのことが大切です。

1. 住民の幸せの基礎としての地域の安全確保は、個人・地域から取り組むこと
2. 東日本大震災の教訓として、まず自分の身は自分で守る（自助）そして支えが必要な人を近隣で助ける（共助）ことが不可欠

### 少子高齢化社会は待ったなし

このことについて、世間のしがらみを解き、個人を尊重し、個人と個人をつなぐ社会としての地域コミュニティをつくっていく。

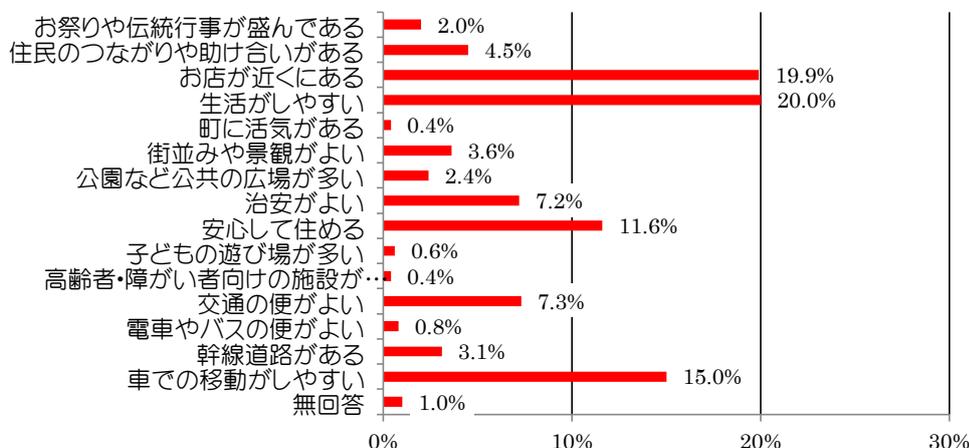
無縁社会を克服する。具体的に、(1)いじめや家庭内暴力などを潜伏させない。(2)地域でひとを育む。(3)いきがい、ひとらしさを再確認する。

（次号につづく）

## ■住民アンケートの集計より

869世帯から回答をいただき、回答率は36.2パーセントでした。引き続き結果を載せていますので、参考にしてください。

車尾地区で、あなたが満足している点はどれですか。（3つまで）



## ■その他

防災の要である車尾消防団は、団員を募集しています。通常のボランティアとは違い、非常勤特別地方公務員という身分保障があり出勤手当が支給されます。問い合わせは、稲倉団長宅（34-4519）まで。

自分たちのまちは 自分たちの力で